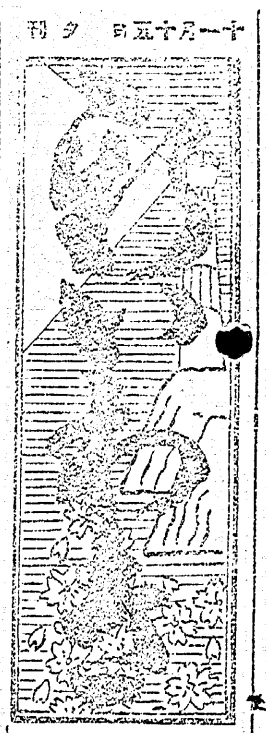
（昭和五年三月廿一日 第三種郵便物認可）

【日刊】 昭和九年十一月十六日 新いわき 【金曜日】 第二千三百三十號 （一）

十一月十五日 夕刊



毎日曰曜祭日二十五週一部二錢
郵送料一行四十錢
定期購読料一行四十錢
発行所 福島縣平町大字二三 新いわき新聞社
印刷人 平谷政吉

炭鑛の婦人勞働禁止

重れて實施延期請願

坑外作業まで廢す理由なし

一千人の撰炭婦を失業させ

擧家勤勉の美風を殺ぐ

炭鑛に於ける婦人勞働の禁止は昨年九月からの實施に對し炭鑛聯合の請願によつて向ふ二ヶ年を延期された明年九月の滿期を控いて聯合會では東京及び仙台兩鑛山監督局に更に延期の請願中であるが炭鑛に於ける婦人勞働を撰炭婦まで禁止されることは炭鑛家庭の副業的稼働を取除くもので何等の効果をも見出し得ないばかりでなく常磐炭全体に於て少くも一千名に上る撰炭婦の賃銀を一日平均五十錢と見て一ヶ月一萬五千圓の副的收入を殺ぐ炭鑛從業者家庭の打撃は甚大なものであつて之れを製糸又は紡績工その他適當な婦人作業へ家庭を離れて轉稼することは容易なことではない而して婦人の失業は物質的の損失のみでなく閑居不善の惰風を招ぎ却て好ましくない結果を見るであらうことが想像され地方炭鑛家庭の實狀を知らない法の强要であるとも唱ひられてゐる、事實婦人勞働の禁止なるものは歐米に於ける女尊男卑の風に與るところの多い弱者保護と云つた樣な一面如何にも道理らしい國際勞働會議のもたらしたもので從來外國風にのみ追隨して來た異物であつて他に何等の理由あるを認められず日常起居を共にする擧家勤勉の自國の美風を失はせる樣なことはなしたくないものであるとの聲が炭鑛以外の識者間にも高唱されてゐるので歐米に於てと云へば恐く拜伏した是れまでの日本なら兎も角自思自省を熱叫されてゐる我が國に斯うした異物は自然淘汰されるに相違なく從つて聯合會の請願は容れられるものと觀られてゐる

念よ調査に忙はしい

平小鐵道の着工準備

昨日は屬官二名で實情調べ

廿日は建設所長と技師

平小鐵道敷設工事を愈よ明年度から着手されるに就て過般平町から地方物産及び旅客等の參考資料を提出したことは既報の如く東鐵計畫課では昨十四日關根、堀内兩屬を派して平町その他に右の再調査を行ひ來る二十日は建設事務所から長谷所長並に千葉技師出張の由である

國寶阿彌陀の通路

縣道に編入の請願

内郷、平両町村關係連署で

改修工事費は八千圓位

石城郡内郷村の白水阿彌陀堂々宇屋根替は既報の如く明春の着工確實の筈であるが同村では更に同地に至る道路の縣編入を望み赤土堂管掌並に沼田内郷村長及び寄沼平町長外地元關係連署を以て知事宛請願書を提出することになつたが右の路線は内郷村綴字藤棚地内國道から分岐約半里の距離でその半ばまで縣道になつて居り爾後の工事は橋梁あるのが工費關係に及ぼす模樣であるが全線改修約八千圓位と見込まれてゐる

少年職紹の

聯合協議

今日平町にて

平職業紹介所及び湯本職業紹介所の合同主催連絡十八小學校との聯合協議會は今十五日午前九時から平町會議事堂に於て開催され主として少年紹介に關し左記諸件を協議した

打合事項提出書類明日變更少年職業紹介宣傳ビラ作製同紹介を父兄に徹底せしむる良法△希望事項職業指導研究會設立△求人者との懇談會（以上）

常磐講座

東北町村聯合

臨時大會

來る廿日仙臺市で

東北六縣町村長會聯合會では冷害對策問題に關し來る二十日午後一時から仙台市東三番町大聖寺裏門通り齋藤報恩會々議室に臨時大會を開催地元宮城縣町村長會提出の外各持寄りの提案に對し農林窮乏の眞劍な叫びを上げて主務省に適當なる急施策を請ふことになつた

德川夢聲氏の

漫談と映畫

平町青年團では資金造成のため來る二十四日午後六時から同町樂樂館に漫談と映畫の夕を開催の筈であるが會費は一人三十錢の由

漫談德川夢聲（東部に於ける斯界の權威者）漫畫三月十日「ミッキーマウス」護れ大空 關西大風水害實況 空中艦隊（劇物）以上

築港竣工檢査

石城郡江名町仲の作築港七八兩年度工事十五万圓は過般見事に完成したが今十五日内務省から鏡技師及び太田屬出張

石城太平記

（9）

閼伽井嶽藥師祈誓の事

去る程に松川久米之助、井澤軍治兩人は九八郎を安藤平八が門迄同道して平をおそく落けるが好間村に着きければ早や明六ッの鐘の音にはつと兩人驚き顔見合せしばし涙にくれけるが久米之助申けるは斯樣なる事は覺悟なり、しかし下郎の手にかゝり死すること淺念なり、かねて心掛ければ閼伽井嶽藥師堂へ急ぎ行きて心しづかに切腹せんと跡をも見ずして登りけり暫らく向ふを見れば追人の大勢四方へ散りたり兩人是を見て最早最期を急かんと藥師堂へ着きにける兩人座を改めて藥師如來を三拜し我等共樣子ありて唯今切腹仕るなり、何卒如來の供力にて安樂淨土へ道引き玉へと觀念して共に肌をぬきければ暫しと聲をかけた年頃六十ばかりの御僧顯はれ出でやあ〳〵兩人汝等こゝにて切腹せんとは心得ず樣子は如何にと兩人はつと拜伏して成る程委細語り申上べし我々は何をかくさん内藤左京之助殿に小姓奉公仕候和也、八右工門と申す者に意趣あつて切腹し申す夫ゆへ助かる方なし何卒この御堂をかり切腹せんと思ひ詰め是まで參申す也、御戀悲と思召見遁しても玉はらば有がたく存じ候と申ける、御僧是々と呼び玉へば山伏一人來り御僧仰せけるは兩人樣子あつて我等を頼むなり何卒江戸まで送り玉へて下さるまじと仰せられけり、

製炭能率を確めて

萬全の策に當る

濱通り木炭組合の詳細な調査

カマ數千八百乃至二千か

濱三郡の木炭同業組合では此の程指導員會議を開いて左記指示事項の外指導の統一を圖るには製炭閑散期に於て研究會を開き改良統一をなすべく來年夏期から之れを必行すること及び指導能率を增進するには大生産地に向つて適當な指導施設をなすことに決したが尚ほ生産能率を確めて臨機の處置を誤らざるやう各指導員受持區域内のかま數から構築個所に構造並に白黑炭かまの樣式大小及び一かま一回の平均製炭量この資才を國公私有林の何れによつて見込み材積が何程併せて其の材源林を幾何で買入れたかと云ふに至るまで本年末までに同調査を繼め地元消費及び移出の對策に當ることになつたが石双相三郡のかま數は千八百乃至二千位かと見込まれてゐる

指示事項本加入者の取締 指導地形轉の報告 指導報告期の勵行 賦課金整理 指導員と檢査品の連絡等

磐女校の寄宿生一同

小使錢を凶作の會津へ

昨十四日同情の手紙を添えて

平署へ四圓五錢を差出す

磐城高女校の寄宿生一同は昨十四日午後四時半頃平署を訪ひ本縣會津の凶作地に贈つて欲しいと左記の手紙に金四圓五錢を差出したので同署では直ちに縣社會課に旨を添へて廻送したが其の奇特を喜ばれてゐる

時雨がちの神無月も何時しか過ぎて師走近い空は日毎に雪催ひを呈して參りました、新聞紙上での悲慘な狀況を御察申上げるだに身の毛もよだつ樣覺えます此の些細なものは毎日の小使をさいて萬分の一にも報えたいと思ひます、

現補役の教育

石城郡澤渡村では此の程現役十一名補充十五名に證書を交付し整備教育を開始したと

冷害救濟道工事

石城郡田人村の入旅人に於ける冷害救濟道路工事は工費一千圓を配當されて數日前から着工部落民は稻の刈上げ期に於ける多忙に拘はらず非常な喜びで毎日約五十名位づゝ作業に出てゐる由

組合移動の

動力籾すり

石城郡勿來町農會では昨十四日町内農事實行組合長會を開き來十二月七、八、九の三日間同町廣市場内に農産物品評會を開催し會終了日の九日は東部から名士を招ぎ講演を請ふことになつたが尚ほ産業組合に於て購入（動力機と籾摺機で五百二十五圓）せる籾摺機を三十の實行組合單位に移動使用することに決し次へで養兎約一千頭の共同販賣を申合せたと

ガン〳〵で

火傷死亡

六歳の幼女が

石城郡内郷村の宮字竹の内坑夫喜三郎次女關根光枝（六）は去る十三日午後六時頃自宅前に於て俗にガン〳〵と稱する石炭の焚火に暖をとり着衣の裾に火が移つて全身火傷最寄醫師の手當てを受けたが間なく死亡した

小名濱町議病死

石城郡小名濱町々會議員伊藤經三郎氏は病氣加療中であつたが効なく去る十二日死亡した尚ほ補缺選擧は行はぬ由

縣道三株勿來線

茲二三日で開通

石城郡田人村の高坂地内に於ける匡救事業中の縣道側が去る十二日朝延長六十間に亘る大地辷りありたるは既報の如く目下消防組及び青年團二十餘名應援出動昼夜兼行復舊に努めてゐるが尚ほ三百坪程の崩壞危險があるので人車馬の交通差支なきまでには向後二三日を要するであらうと

縣の山口技手と共に竣工檢査を行つたが一行は十七日まで滯在地方關係工事を視察の由

桃新品種紹介

(1)　齋藤石城分場長

農林省園藝試驗場と神奈川縣農事試驗場園藝部の兩場で發表した桃の新品種が本縣に於て栽培して果して有利であるかどうかは不明であるが桃を栽培して居られる方々の參考にもなるかと思つて兩試驗場の說明書によつて紹介することにいたします、

一、農林省園藝試驗場に於て發表の新品種

十數年來谷川技師が主任となつて育成したもので數百種の中から撰擇した經濟的價値があつて比較的優良と認められた新品種である、

一、三俣、大正九年三月同場に於てローヤルジージ種の自花授粉によつて得た新品種である、興津では六月中旬に採收される、果實は小形で一〇〇瓦內外である、品質上、

二、清水、明治四十三年同場に於て上海種の實生から得たものである、熟期は六月中下旬で天津種に比し約二、三週間早熟である、一七〇瓦內外、品種中、頂端急尖

三、羽衣、大正九年土用水密桃の自花授粉によつて得たるものである、果實は離核水密桃に似るも稍小形である、熟期は七月上旬で早生種と中生種の中間に採收される、二二〇瓦內外、品質上

四、久能、大正九年離核種に晩五號(品種名不詳)を交配して育成したものである、二四〇瓦內外、品質上、先端尖る

五、興津、大正六年プロコースドクロンセルにロードナピアを交配して育成したのである、この油桃は露地栽培にも適するのが特徵である、一四五瓦內外、品質上、黃肉、

右五品種の苗木の有無を當分場から興津園藝試驗場に照會してみたが本年は養成してないと返答がありました、然し五の興津〇は苗木商に於て昨年からプレコースロードナピアと云ふ名で賣り出して居るやうであります、

若人向、紳士向　富豊柄流行流新

冬の中折帽子とネクタイ

特選優秀ソフト ¥2,00
〃　國產フワー ¥5,50
セラフイツク帽 ¥6,00

ヤルツに　電一四〇

内科、小兒科
大森醫院
醫學士　大森勇
平町南町　電二五八番
入院需應

債券公債兩替金融
多田井質店
平町大工町　電話五九一番

慢自の品良優も豚も牛
御の肉用命は
三三屋
平町田町

ガソリン
モビール油
日本石油株式會社
特約販賣
油問屋
關內油店
磐城平　電話長16
支店　郡山市駅前通店　電話長三二八
支店　矢吹縣通本駅前　電話長平潟七三
油漆出張所　平町四丁目郵便局前

產科
婦人科院　長　木村寅次郎
外科　醫學博士　內木宗八
藥局　藥劑師　玄蕃彌一
平町新川町九一
入院隨意
病室完備
木村病院
電話一六四番

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントケン科
中野齒科醫院
院長　日本齒科醫學士　中野惠次
日本齒科醫學士　西川誠
平町田町(松月堂向ひ)電話五〇九番

磐城代表酒銘
美味經濟醬油
ヤマワマ
山崎合名會社
電話十番

新設、電話二二一番
何卒御利用の程を……
平町紺屋町一一
上原家政婦會
(產婆)　上原通子

自家醬油製造
諸原料(種麹菌)(カラメル)
特約販賣　山野邊藥局
平町五丁目角

東京海上火災保險株式會社
東京海上火災保險株式會社
横濱生命保險株式會社
磐城代理店
河田鐵工場
河田梅吉
營業所　福島縣平町七丁目　電話三二九番　一六五五
本社　東京市日本橋通り三丁目
仙臺支部　仙臺市大町三丁目

磐城名產特賣所
御土產物には鄉
石城みやげ
七海の生產品
地元產の果實
平みやげ
名菓各種
土の名產が第一
平町驛前

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
平町田町(電話五八番)藤田女學校前
入院應需
鈴木醫院